

Black Diamond™

ブラックダイヤモンド フリックロックポール

取り扱い説明書

該当製品

- ・カーボンファイバーフリックロックポール
- ・フリックロックアジャスタブルポール
- ・フリックロックトラバースポール
- ・フリックロックエクスペディションポール
- ・ウィベット

Flicklock Poles

本製品をご使用になる前に、この取
り扱い説明書を必ずお読みください。

警告

スキーは危険を伴う行為です。本製品をご使用になる方は、道具の正しい使い方と、正しいスキーテクニックを習得する責任があります。本製品はスキー専用設計されていますので、他のいかなる目的にも使用しないで下さい。誤った使い方をすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

ブラックダイヤモンド日本総代理店
株式会社ロストアロー

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折 1386-6

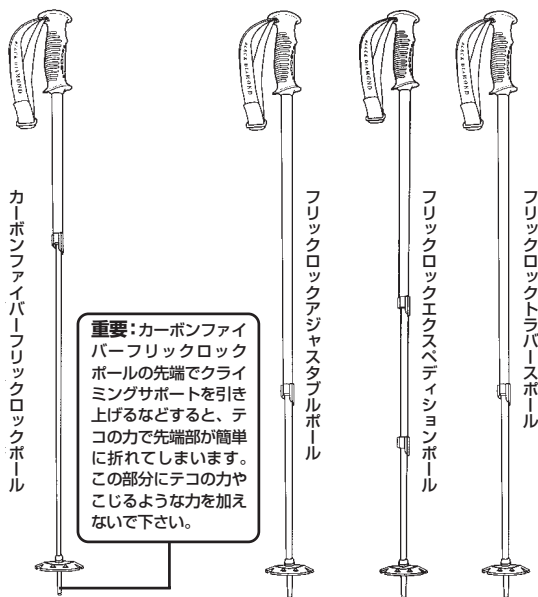
Tel= 049-271-7111 (代表)

049-271-7113 (ユーザーサポート)

info@lostarrow.co.jp

REV.02/09

ブラックダイヤモンドのすべてのポールには同社の特許であるフリックロックという長さ調整機構が採用されています。フリックロックは従来のツイストロック方式とは異なり、荷重が加わっても調整部分が滑ったり、凍り付いたりしません。またポールのリストストラップをしたままで簡単に調整ができます。フリックロックポールは下図のように4つのモデルがあります。

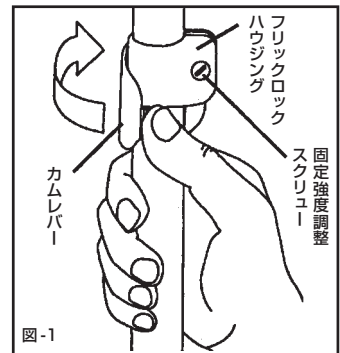


- 1 -

1. フリックロックの使い方

フリックロックは、シャフトに取り付けられたカムレバーにより、ポールのジョイント部分を、シャフトの外側からしっかりと締め付けて固定する仕組みです。

フリックロックを解除するには、図-1のようにポールを持ち、親指でカムレバーの刻みの付いた部分を押し開いて下さい。



カムレバーが開いたら、下段のシャフトを適した長さに調整し、カムレバーを最後までしっかりと閉めてシャフトを固定して下さい。最後まで閉めないと、横方向から強い力が加わったときにカムレバーが開いてしまうことがあります。

2. フリックロックの固定強度を調整して下さい。

出荷状態のフリックロックの固定強度はゆるめに設定してあります。ご使用前に、必ずフリックロックの固定強度の調整をして下さい。カーボンファイバーポールの場合、固定強度が弱い状態でポールを地面に強く突くと、下段シャフトが動かなくなる場合があります。カムレバーを開き、固定強度調整スクリュー(図-1 参照)を1/4~1/2程度右(時計回り)に回して締め付けて下さい。カムレバーを閉じてポールのグリップの真上から体重を加えてもシャフトがずれないことを確かめて下さい。締め込みすぎてカムレバーが閉まりにくい場合には、カムレバーを開き、スクリューを少し左(反時計回り)に回してゆるめて下さい。

- 2 -

裏面に続く

3. プローブにする方法(一部モデルのみ)

カーボンファイバーフリックロックポールとフリックロックアジャスタブルポールにはプローブ(雪崩による埋没者の探索用の棒)機能が備わっています。

プローブにする手順は、まずフリックロックを開き、下段シャフトを引き抜いて下さい。上部シャフトは不要です。次に下段シャフトの最上部に付いている赤いフリクションプラグ(図-2)を外し、左右のシャフトをしっかりと連結して下さい。そして片方のバスケットを足で踏んで、シャフトを上方に強く引いて外せば、プローブの完成です。外した上段シャフトなどの部品はなくさないように注意して下さい。また、別売のアバランチプローブエクステンダーを中間につなぐことにより、38 cm単位でプローブを延長することができます(アジャスタブルポールのみ)。

左右の下段シャフトが雄ネジと雌ネジのペアになっていないとプローブにすることはできません。ツアー中には他の人のポールと混じってしまうこともありますので、正しいペアになっていることを必ず確認して下さい。アジャスタブルポールはバスケットホルダーの色が白と黒のペアになっています(図-3)。カーボンファイバーポールは左右とも黒色ですので下段シャフトを抜いて確認する必要があります。

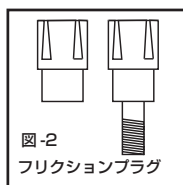


図-2
フリクションプラグ

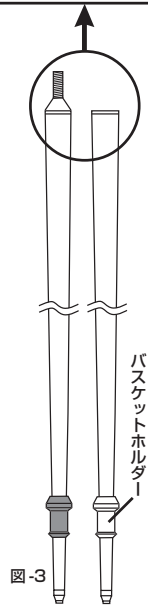


図-3

- 3 -

4. プローブの使用には知識と技術の習得が必要です。

素早くプローブを組み立て正しく使用できるように十分な練習を積んで下さい。プローブ機能を備えたポールを持っているだけでは、雪崩に埋まった人を助けることはできません。使う人の技術こそが重要です。雪崩の起きやすい雪質や地形に関する正しい知識及び正しい救助技術を、経験豊かな指導者から学ぶ必要があります。

また、優れた救助機能を備えているからといって、雪崩の危険から逃れられるわけではありません。

5. 日常点検

ご使用前の前後には、フリックロックがスムーズに操作できるかどうか確認して下さい。また、フリックロックのカムレバーと本体に亀裂や損傷が無いかどうかを確認して下さい。故障したり破損したりした場合は、お買い求めの販売店に修理をご依頼下さい。プローブ機能を装備したモデルをご使用の方は、左右のポールが正しいペアになっていることを常に確認して下さい。バスケットホルダーの色が左右で異なったもの(白と黒)が正しい組み合わせです。

6. お手入れと保管方法

- ◆フリックロックのカムレバーを閉めた状態のまま長期保管しないで下さい。特に気温や湿度の高い場所で閉めた状態のままにしないで下さい。
- ◆ポールのシャフトには、オイル、シリコン、その他の潤滑材は一切使用しないで下さい。
- ◆使用後は必ず、下段シャフトを抜き、十分に乾燥させてから保管して下さい。
- ◆カムレバーの動きが固くなった場合には、レバーピン、カムレバーとハウジング(フリックロック本体)が接する部分に少量の潤滑油を塗布して下さい。余分な油は拭き取って下さい。

- 4 -

7. ウィペットの使用方法

ウィペットはフリックロックアジャスタブルポールなど、直径16mmの下段シャフトと組み合わせて使うピック付き上段シャフトで、以下の目的に使用できます。

- ◆雪の中斜面を登るとき補助
- ◆スノーまたはアイスクライミングのアプローチ用
- ◆スキーでの軽度の滑落を止める滑落停止用
- ◆片方だけでも、ペアでも使用可能

プローブ機能を備えた下段シャフトとを組み合わせて使う場合は、下段がプローブにできる組み合わせになっていることを必ず確認して下さい。

7.1 ピックの着脱法

ウィペットのピックは不要の時は取り外すことができます。

ピックの外し方

グリップを前向きにして持ち、グリップのすぐ下の溝から出ているタブ(突起)を押し、ピックを上から見て時計回りに回しながら引き抜いて下さい。

ピックの取り付け方

①グリップを前向きにして持ち、ピックを右に向けた状態でグリップ上部の溝に差し込んで下さい。

②ピック下部のタブが、ポールシャフトの溝と噛み合うまで押し込んで下さい(図-4)。

7.2 ストラップホルダーインサートの使い方

ストラップホルダーインサートは、ピックを使用しないときにグリップに差し込むためのパーツです。着脱は下記の手順で行って下さい。

ピックとストラップの外し方

①ピックをグリップから引き抜いて下さい。

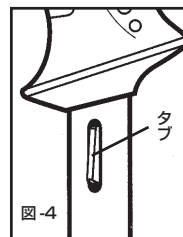
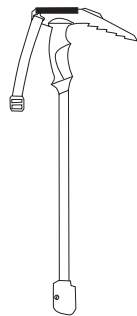


図-4

- 5 -

- ②プラスチックチューブの後端(ストラップが付いている側)を3mmほど持ち上げて下さい。
 - ③持ち上げながら後方にスライドさせてピックからプラスチックチューブを引き抜いて下さい。
 - ④ストラップをスロットから外して下さい。
 - ⑤プラスチックチューブをピックに元通り装着して下さい。
- ##### ストラップホルダーインサートの取り付け方
- ①インサート上部のフックにストラップを通して下さい。
 - ②インサートのフックを上から見て左方向に向け、インサート下部のタブとシャフトのスロットが噛み合い、グリップ上端とぴったりと重なるまでグリップに差し込んで下さい。

8. ウィペット使用上の注意

- ◆ウィペットはアイスアックスではありません。また、その代用として使用することもできません。
- ◆図-4のように、ピックのタブとポールシャフトの溝がしっかり噛み合っていることを常に確認して下さい。
- ◆ウィペットは、アイスアックスのような持ち方や振り方はしないで下さい。必ずグリップを握ってピックを使用して下さい。
- ◆ご使用前に障害物のない緩やかな斜面で、ウィペットを使った滑落停止の練習をし、制動の効き具合を確かめておいて下さい。
- ◆滑落停止は、シャフトを体に対して斜めに持ち、片方の手でピックを上から押さえ、もう一方の手でフリックロック部分を持って引き上げるようにしてピックを雪面に刺して制動をかけて下さい。
- ◆ピックを装着して滑走するときは、ピックで自分の身体を傷つけないように注意して下さい。

注意：ウィペットのストラップはリリース式ではありません。雪崩の可能性の高い斜面や樹林帯を滑降するときはストラップを手首から外しておいて下さい。

- 6 -